

平成 30 年 3 月 12 日

法人企業景気予測調査(30 年 1～3 月期)

景況判断、2 期ぶり「下降」超

—その他の輸送用機械、宿泊、飲食で「下降」超

➤ 景況判断BSIの業種別の結果

全産業	▲ 2.6	(前回 3.5)	— その他の輸送用機械、宿泊、飲食等で「下降」超
製造業	▲ 9.1	(前回 18.2)	— その他の輸送用機械等で「下降」超
非製造業	0.0	(前回 ▲ 2.4)	— 卸売、小売等で「上昇」超、宿泊、飲食等で「下降」超

➤ 景況判断BSIの先行きの見通し(全産業)

30年4～6月期	0.9	「上昇」超の見通し
30年7～9月期	0.0	「上昇」と「下降」が均衡する見通し

➤ 企業収益、設備投資：29年度通期見込み

売上高	前年比： 3.8%	— はん用機械等で増収
経常利益	前年比： ▲15.2%	— その他の輸送用機械等で減益
設備投資	前年比： 20.5%	— 非鉄金属、その他の輸送用機械等で増加

(注1) 売上高、経常利益は、電気・ガス・水道業、金融業、保険業除く。

(注2) 設備投資は、ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

➤ 従業員数判断

従業員数判断BSIは 33.6 となり、引き続き「不足気味」超

➤ 回収率等

- ・回収率 93.5% (対象企業数：124、回答企業数：116)
- ・次回調査結果の公表予定は6月



法人企業景気予測調査結果

長崎県の概要

(平成 30 年1～3月期調査)

平成 30 年3月 12 日

財務省福岡財務支局長崎財務事務所

本件についてのお問い合わせ先

長崎市筑後町3番 24 号

財務省 福岡財務支局 長崎財務事務所

財務課 ☎095(827)7095

[調査要領]

1. 調査の目的と根拠

この調査は、我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として年4回(5、8、11、2月)実施することとなっている。

2. 調査対象

県内に所在する資本金、出資金又は基金(以下、資本金という。)1千万円以上(ただし、電気・ガス・水道業及び金融、保険業は資本金1億円以上)の法人。なお、毎年4～6月期調査開始前に調査対象企業の抽出替えを実施。

3. 今回調査の調査時点

平成30年2月15日

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送、または、オンラインにより自計記入を求めた方法によった。また、一部企業についてはヒアリングを実施した。

5. 調査項目の分析方法

- (1) 分析方法は、原則としてBSI(単位:%ポイント)による。BSIとは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称で、前期と比較した「上昇」又は「下降」等の変化方向別の回答数の構成比から、先行きの経済動向を予測する方法である。

(BSI = 「上昇」等と回答した企業の構成比 - 「下降」等と回答した企業の構成比)

(例)「景況判断」の場合

前期と比べて、「上昇」と回答した企業の構成比 : 30.0%、「不変」と回答した企業の構成比 : 40.0%

「下降」と回答した企業の構成比 : 20.0%、「不明」と回答した企業の構成比 : 10.0% の場合

BSI = 30.0 - 20.0 = 10.0%ポイント ⇒ 10.0%ポイントの「上昇」超

- (2) 回答企業数は、調査項目によっては該当しないものもあり一致しない。

6. 対象企業の内訳及び調査票の回収状況

	製造業	非製造業	合計	回答数	回収率
大企業(資本金10億円以上)	7	13	20	19	95.0%
中堅企業(資本金1億円以上10億円未満)	13	26	39	37	94.9%
中小企業(資本金1千万円以上1億円未満)	15	50	65	60	92.3%
合計	35	89	124	116	93.5%

7. 調査対象期間

(1) 判断調査

平成30年1～3月期又は3月末(現状判断)

平成30年4～6月期又は6月末(見通しⅠ)

平成30年7～9月期又は9月末(見通しⅡ)

(2) 計数調査

平成29年度上期は実績、下期及び通期は実績見込み

平成30年度通期は見通し(又は計画)

1. 企業の景況判断………現状判断は「下降」超に転じる

[現状判断]

30年1～3月期は、全産業では「下降」超に転じている。

業種別にみると、製造業は、「下降」超に転じ、非製造業では、「上昇」と「下降」が均衡している。

規模別にみると、大企業は「下降」超幅が拡大しており、中堅企業は「下降」超に転じており、中小企業は「上昇」超となっている。

[先行き見通し]

30年4～6月期は、製造業は「上昇」超に転じる見通しとなっており、非製造業は「下降」超となる見通しとなっている。

規模別にみると、大企業は「上昇」超に転じ、中堅企業は「上昇」と「下降」が均衡し、中小企業は「下降」超に転じる見通しとなっている。

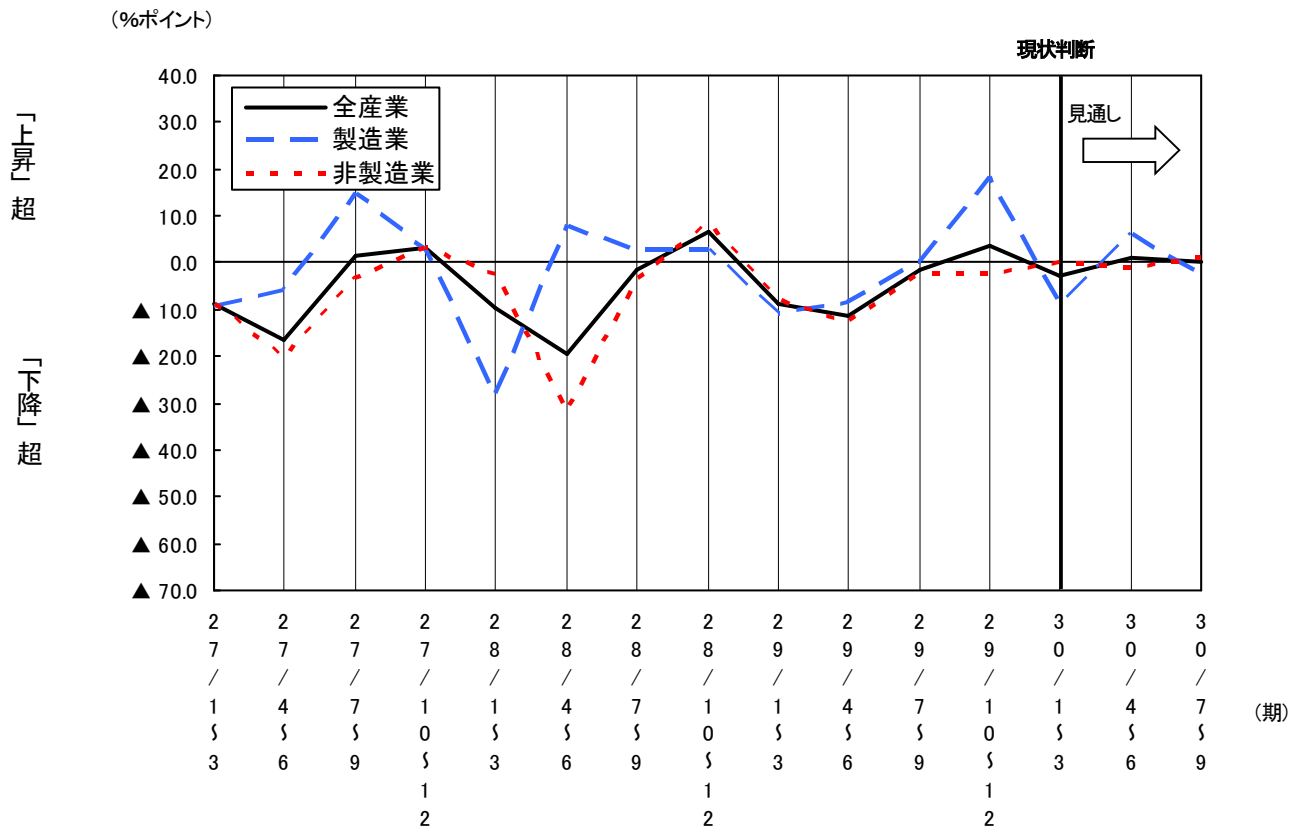
30年7～9月期は、製造業は「下降」超に転じ、非製造業は「上昇」超に転じる見通しとなっている。

規模別にみると、大企業は「上昇」超幅が縮小し、中堅企業は「上昇」超となり、中小企業は「下降」超幅が拡大する見通しとなっている。

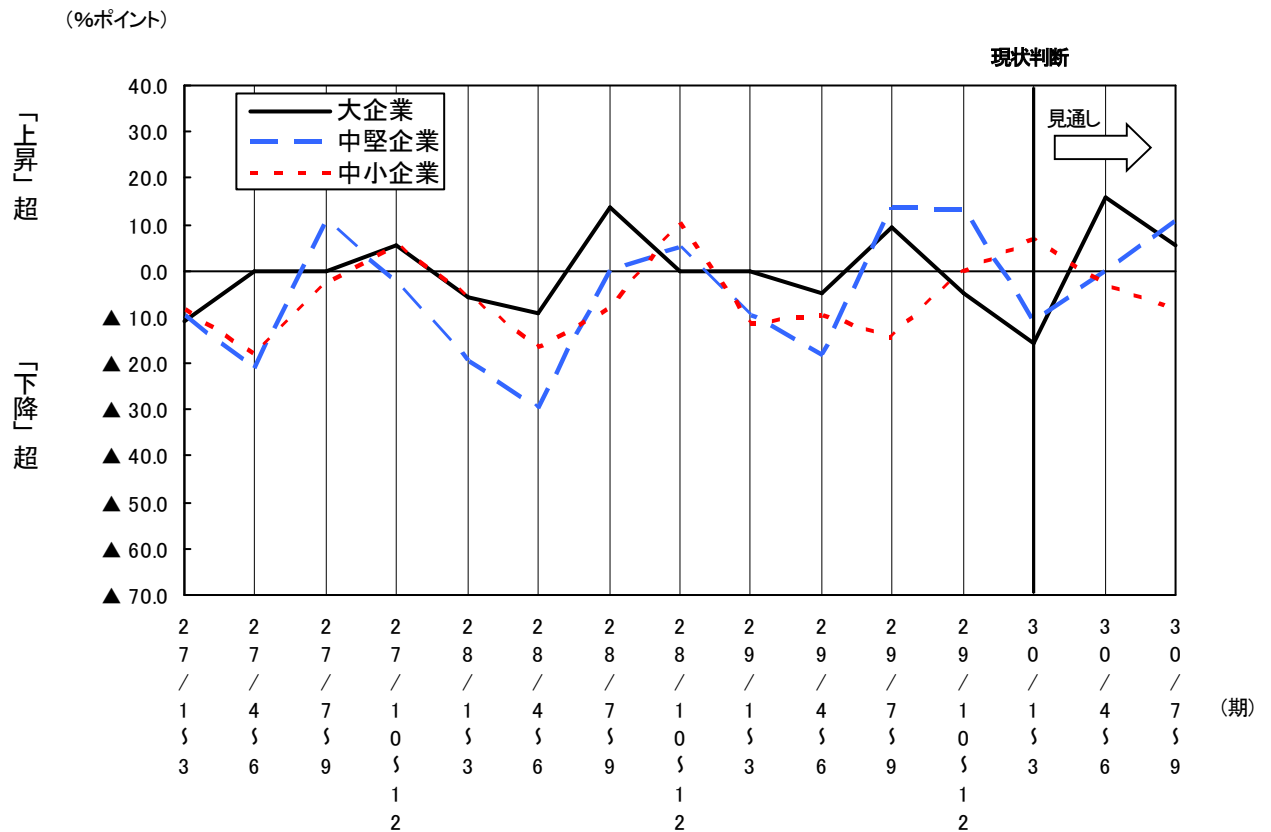
区分		(前四半期と比較して「上昇」-「下降」の社数構成比)				(BSI: %ポイント)			
		前回調査		現状判断		見通し I		見通し II	
		(29年10～12月)		(30年1～3月)		(30年4～6月)		(30年7～9月)	
		BSI		BSI		BSI		BSI	
全産業		3.5		(▲0.9) ▲ 2.6		(▲5.2) 0.9		0.0	
業種別	製造業	18.2		(0.0) ▲ 9.1		(▲18.2) 6.1		▲ 3.0	
	非製造業	▲ 2.4		(▲1.2) 0.0		(0.0) ▲ 1.2		1.2	
規模別	大企業	▲ 5.0		(▲15.0) ▲ 15.8		(5.0) 15.8		5.3	
	中堅企業	13.2		(5.3) ▲ 10.8		(▲5.3) 0.0		10.8	
	中小企業	0.0		(0.0) 6.7		(▲8.8) ▲ 3.3		▲ 8.3	

(注) ()は前回調査結果

企業の景況判断BSI推移グラフ(業種別)



企業の景況判断BSI推移グラフ(規模別)



2. 企業収益

(1) 売上高・……・29年度は増収見込み

29年度下期は、製造業は前年同期比2.2%の増収見込み、非製造業は同0.3%の減収見込みとなっており、全産業では同1.4%の増収見込みとなっている。

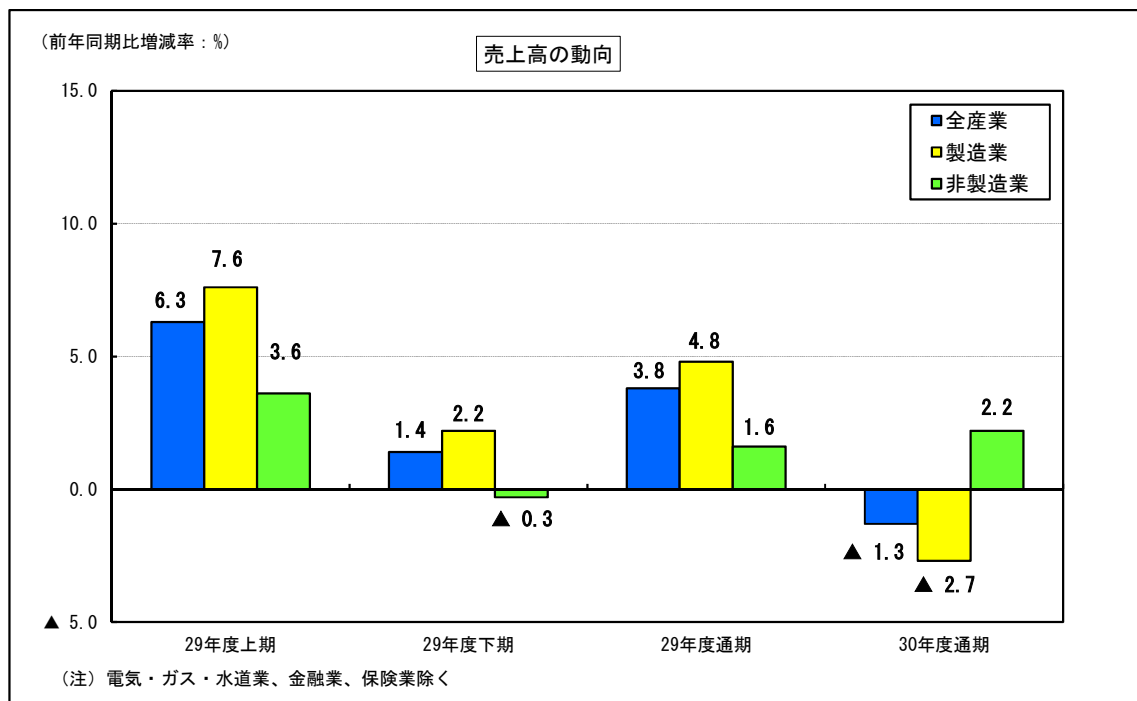
29年度通期は、製造業は前年比4.8%の増収見込み、非製造業は同1.6%の増収見込みとなっており、全産業では同3.8%の増収見込みとなっている。

30年度通期は、製造業は前年比2.7%の減収見通し、非製造業は同2.2%の増収見通しとなっており、全産業では同1.3%の減収見通しとなっている。

(前年同期比増減率：%)

区分		29年度			30年度
		上期	下期	通期	通期
全産業		6.3	1.4	3.8	▲ 1.3
業種別	製造業	7.6	2.2	4.8	▲ 2.7
	非製造業	3.6	▲ 0.3	1.6	2.2
規模別	大企業	4.1	2.4	3.2	▲ 5.7
	中堅企業	5.0	3.1	4.0	2.9
	中小企業	18.9	▲ 5.7	5.3	7.5

(注)電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く



(2) 経常利益……29年度は減益見込み

29年度下期は、製造業は前年同期比62.3%の減益見込み、非製造業は同6.9%の減益見込みとなっており、全産業では同38.5%の減益見込みとなっている。

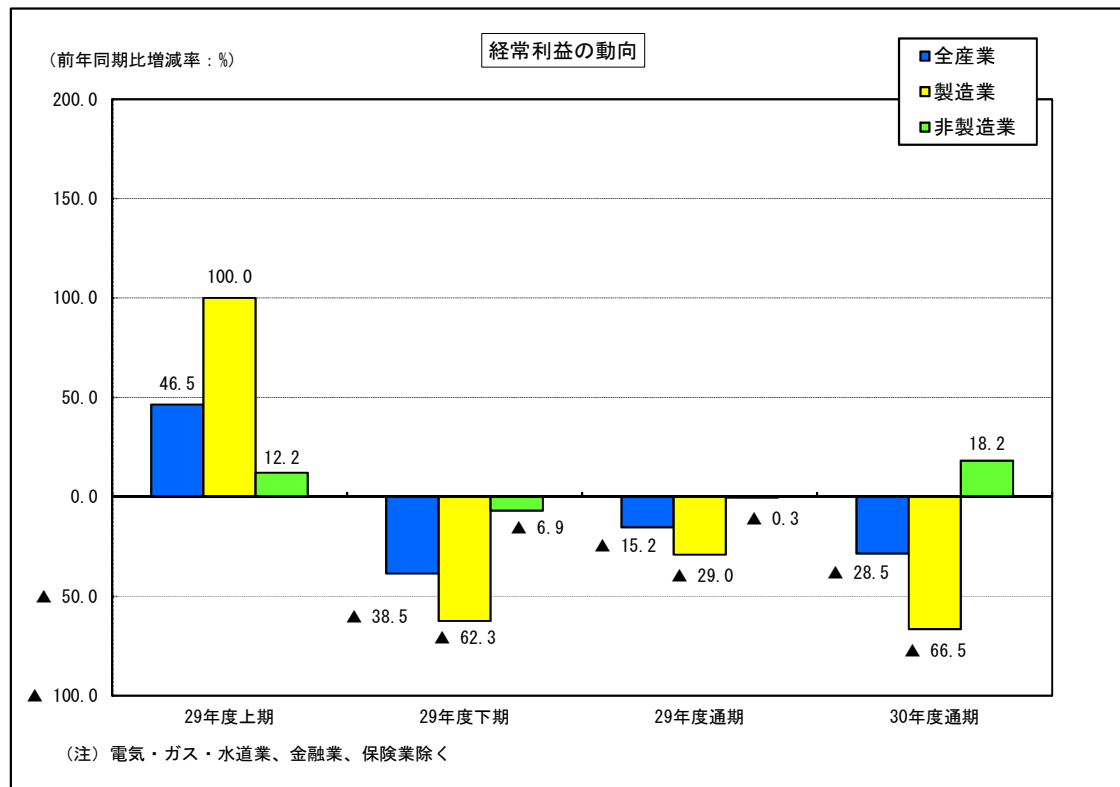
29年度通期は、製造業は前年比29.0%の減益見込み、非製造業は同0.3%の減益見込みとなっており、全産業では同15.2%の減益見込みとなっている。

30年度通期は、製造業は前年比66.5%の減益見通し、非製造業は同18.2%の増益見通しとなっており、全産業では同28.5%の減益見通しとなっている。

(前年同期比増減率：%)

区分		29年度			30年度
		上期	下期	通期	通期
全産業		46.5	▲ 38.5	▲ 15.2	▲ 28.5
業種別	製造業	100.0	▲ 62.3	▲ 29.0	▲ 66.5
	非製造業	12.2	▲ 6.9	▲ 0.3	18.2
規模別	大企業	81.8	▲ 65.3	▲ 39.0	▲ 65.8
	中堅企業	20.4	16.1	18.0	9.6
	中小企業	101.9	▲ 24.9	▲ 1.7	▲ 6.1

(注)電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く



3. 設備投資……29年度は増加見込み

29年度下期は、製造業は前年同期比39.5%の増加見込み、非製造業は同6.7%の減少見込みとなっており、全産業では同20.6%の増加見込みとなっている。

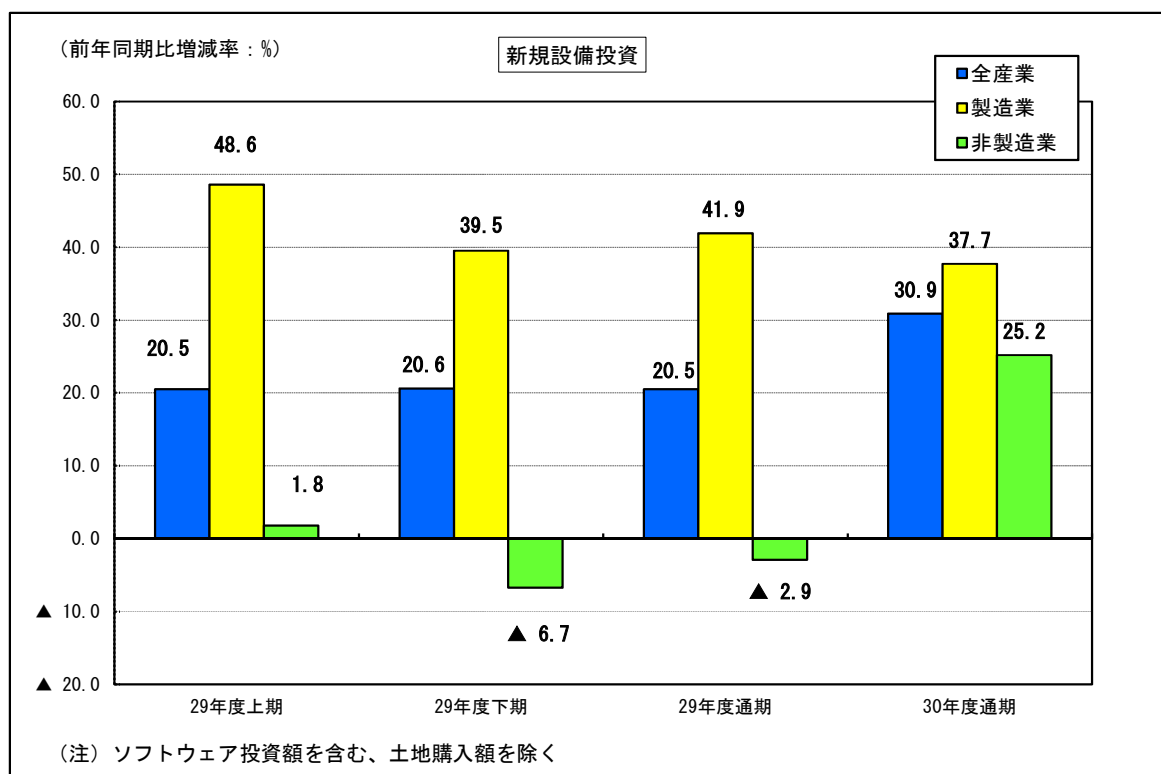
29年度通期は、製造業は前年比41.9%の増加見込み、非製造業は同2.9%の減少見込みとなっており、全産業では同20.5%の増加見込みとなっている。

30年度通期は、製造業は前年比37.7%の増加見通し、非製造業は同25.2%の増加見通しとなっており、全産業では同30.9%の増加見通しとなっている。

(前年同期比増減率 %)

区分		29年度			30年度
		上期	下期	通期	通期
全産業		20.5	20.6	20.5	30.9
業種別	製造業	48.6	39.5	41.9	37.7
	非製造業	1.8	▲ 6.7	▲ 2.9	25.2
規模別	大企業	3.6	▲ 8.6	▲ 4.6	25.7
	中堅企業	27.0	161.5	99.8	46.8
	中小企業	246.6	12.1	82.0	17.6

(注) ソフトウェア投資額を含む、土地購入額を除く



4. 従業員数判断……現状判断は「不足気味」超幅が拡大

[現状判断]

30年3月末時点は、製造業は「不足気味」超幅が縮小しているものの、非製造業は「不足気味」超幅が拡大していることから、全産業では「不足気味」超幅が拡大している。

[先行き見通し]

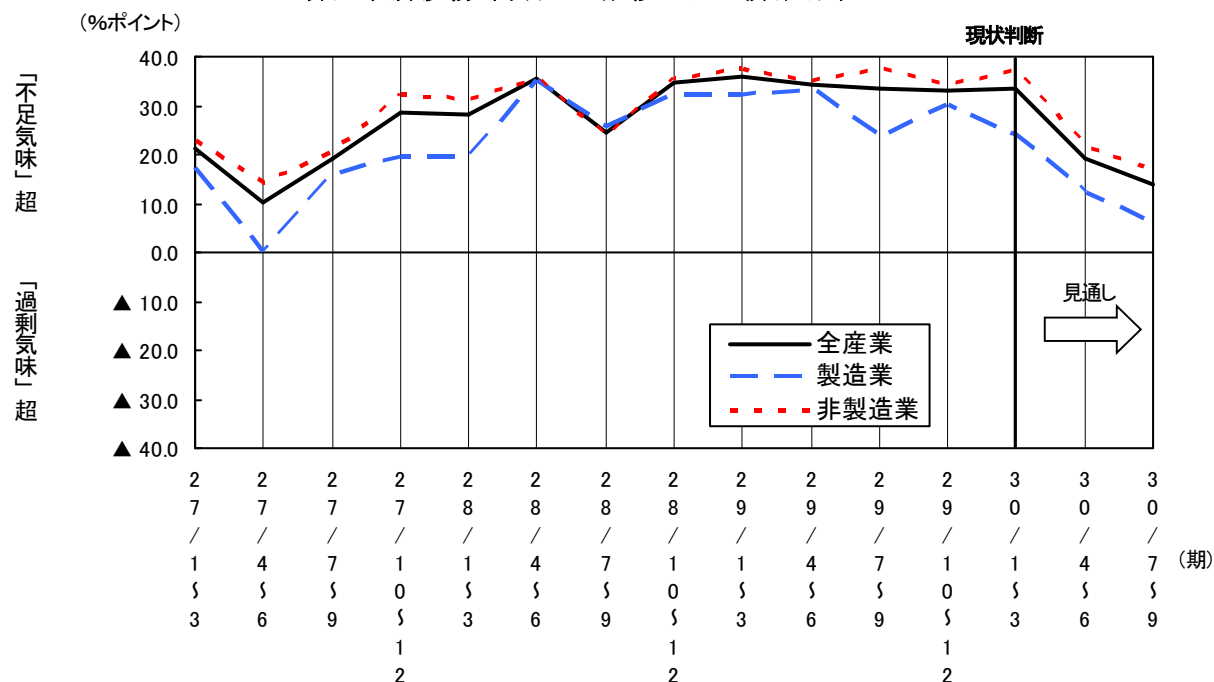
30年6月末時点は、製造業、非製造業ともに「不足気味」超幅が縮小することから、全産業では「不足気味」超幅が縮小する見通しとなっている。

(期末判断「不足気味」-「過剰気味」の社数構成比) (BSI: %ポイント)

区分		前回調査 (29年12月末)	現状判断 (30年3月末)	見通し I (30年6月末)	見通し II (30年9月末)
		BSI	BSI	BSI	BSI
全産業		33.0	(27.0) 33.6	(22.6) 19.0	13.8
業種別	製造業	30.3	(24.2) 24.2	(18.2) 12.1	6.1
	非製造業	34.1	(28.0) 37.3	(24.4) 21.7	16.9
規模別	大企業	20.0	(20.0) 5.3	(25.0) 10.5	5.3
	中堅企業	28.9	(21.1) 32.4	(23.7) 21.6	16.2
	中小企業	40.4	(33.3) 43.3	(21.1) 20.0	15.0

(注) ()は前回調査結果

企業の従業員数判断BSI推移グラフ(業種別)



(参考資料)

(1) 景況判断の決定要因

(回答社数構成比: %)

		29年10～12月 (前回判断)	30年1～3月 (現状判断)
「上昇」 要因	国内需要(売上)の動向	95.2	100.0
	海外需要(売上)の動向	14.3	14.3
	販売価格の動向	52.4	28.6
	仕入価格の動向	38.1	19.0
	仕入以外のコストの動向	9.5	0.0
	資金繰り・資金調達の動向	0.0	14.3
	株式・不動産等の資産価格の動向	0.0	0.0
	為替レート	0.0	0.0
	税制・会計制度等の動向	4.8	9.5
	その他	0.0	4.8
「下降」 要因	国内需要(売上)の動向	76.5	83.3
	海外需要(売上)の動向	11.8	12.5
	販売価格の動向	17.6	50.0
	仕入価格の動向	41.2	37.5
	仕入以外のコストの動向	29.4	12.5
	資金繰り・資金調達の動向	17.6	0.0
	株式・不動産等の資産価格の動向	0.0	0.0
	為替レート	5.9	8.3
	税制・会計制度等の動向	0.0	0.0
	その他	5.9	8.3

(注) 1. 金融業、保険業を除く
2. 10項目中1社3項目以内の複数回答

(2) 今年度における利益配分のスタンス

(回答社数構成比: %)

項目	全産業		製造業		非製造業	
	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度
設備投資	57.5	60.9	39.1	58.3	64.9	61.8
新製(商)品・新技術等の研究・開発	15.0	18.5	30.4	33.3	8.8	13.2
関連会社への出資、M&A	3.8	6.5	0.0	4.2	5.3	7.4
有利子負債削減	18.8	23.9	17.4	20.8	19.3	25.0
新規雇用の拡大	20.0	19.6	13.0	12.5	22.8	22.1
従業員への還元	51.3	44.6	34.8	37.5	57.9	47.1
役員報酬・賞与	13.8	6.5	17.4	4.2	12.3	7.4
株主への還元	26.3	21.7	30.4	33.3	24.6	17.6
内部留保	42.5	47.8	34.8	37.5	45.6	51.5
その他	8.8	2.2	17.4	4.2	5.3	1.5

(注) 1. 10項目中1社3項目以内の複数回答
2. 28年度は29年1～3月期調査時点

(3) 経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を含む)

(前年同期比増減率 %)

区分		29年度			30年度
		上期	下期	通期	通期
全産業		29.3	▲ 35.6	▲ 11.7	▲ 24.7
業種別	製造業	100.0	▲ 62.3	▲ 29.0	▲ 66.5
	非製造業	10.6	▲ 11.6	▲ 1.2	2.2
規模別	大企業	30.0	▲ 54.4	▲ 24.3	▲ 43.0
	中堅企業	22.5	14.2	17.8	8.7
	中小企業	101.9	▲ 24.9	▲ 1.7	▲ 6.1

(4) 設備投資(ソフトウェア投資額及び土地購入額を除く)

(前年同期比増減率 %)

区分		29年度			30年度
		上期	下期	通期	通期
全産業		23.0	24.7	24.1	31.6
業種別	製造業	49.4	40.9	43.1	37.9
	非製造業	4.2	▲ 0.7	1.5	26.1
規模別	大企業	4.7	▲ 5.8	▲ 2.4	27.1
	中堅企業	30.1	173.3	107.8	45.8
	中小企業	246.4	12.9	83.5	17.7